



水難事故防止

～ 栃木県内の水難事故発生状況 ～



○ 令和6年中の水難事故発生状況

令和6年中は、5件5人（うち5人死亡）の水難事故が発生し、年齢別では50歳以上の方が3件3人、場所別では河川が5件5人、行為別では魚採り・釣りが4件4人で、それぞれ最多となっています。

○ 水難事故を防止するポイント

① 小学生以下の子供に対する注意

水辺で遊ぶ危険性についての話をし、必ず保護者が同伴し、決して目を離さないで下さい。

② 中学生や高校生に対する注意

その場の雰囲気流され無理して水に入らないこと。
若さゆえの無茶をしないようにご家庭で指導して下さい。

③ 魚釣りや水遊びの際の注意

体調が優れないときは、水に入るのを控えて下さい。
水に入る際は、ライフジャケットやウェットスーツの着用をお願いします。

④ 飲酒後の水遊びは厳禁

アルコールは、判断力、運動能力を低下させます。
飲酒した状態で川や海に入るのは絶対にやめましょう。



山岳遭難事故防止



～ 栃木県内の山岳遭難発生状況 ～

○ 令和6年中の山岳遭難発生状況

令和6年中は、58件63人（うち7人死亡）の山岳遭難が発生し、年齢別では40歳以上の方が8割強、態様別では転倒、道迷い、滑落の3類型で8割強を占め、遭難者の多くの方が登山計画書を提出していませんでした。

○ 山岳遭難を防止するポイント

コンパスやヤママップ、ヤマレコを活用して、登山計画書を提出するとともに家族等に登山の予定日時やルートを知らせておきましょう。

日帰り登山でも、登山地図や雨具、保温着、非常食、照明具、簡易テント、携帯電話の予備バッテリー等も携行するとともに、単独登山は控え、複数人で登山し、また、熊との遭遇を避けるため、熊鈴等も傾向しましょう。



コンパス



ヤママップ



ヤマレコ